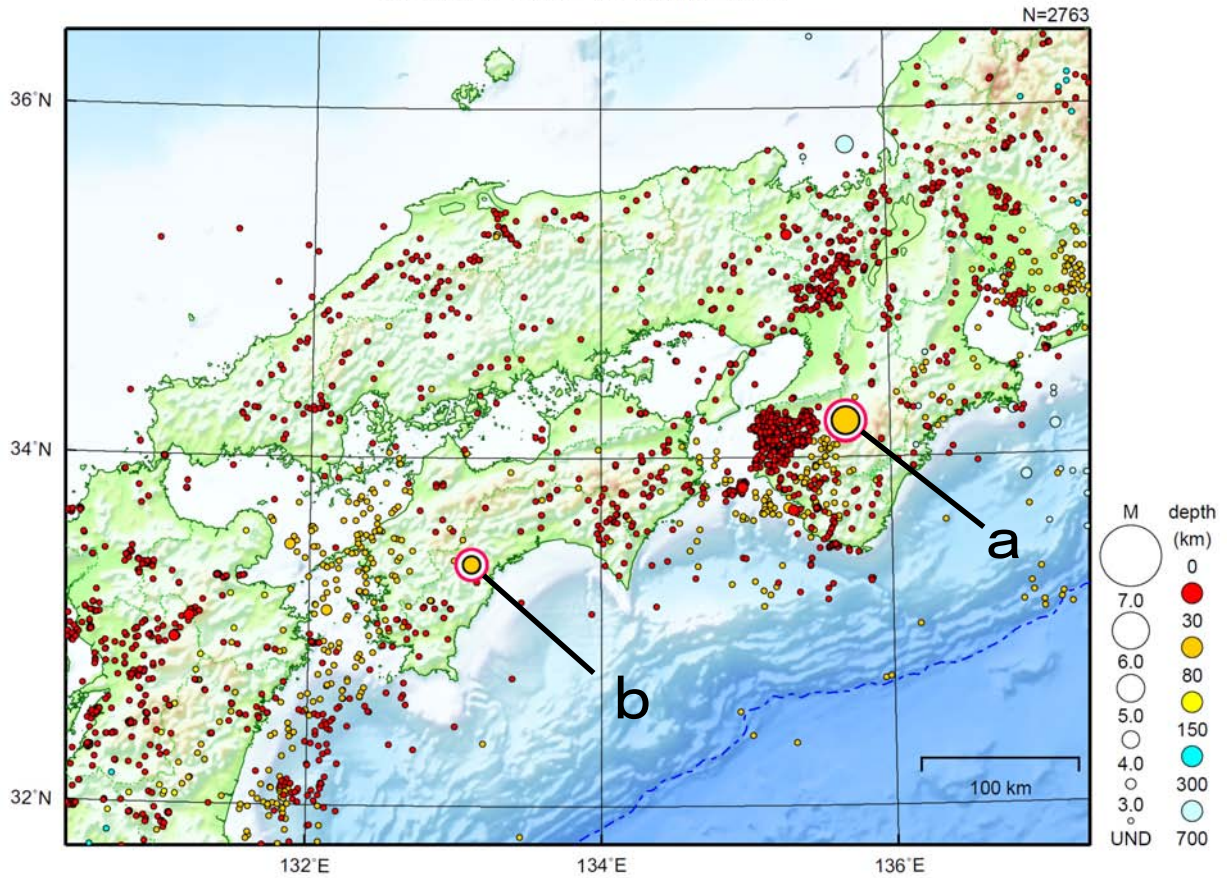


近畿・中国・四国地方

2010/07/01 00:00 ~ 2010/07/31 24:00



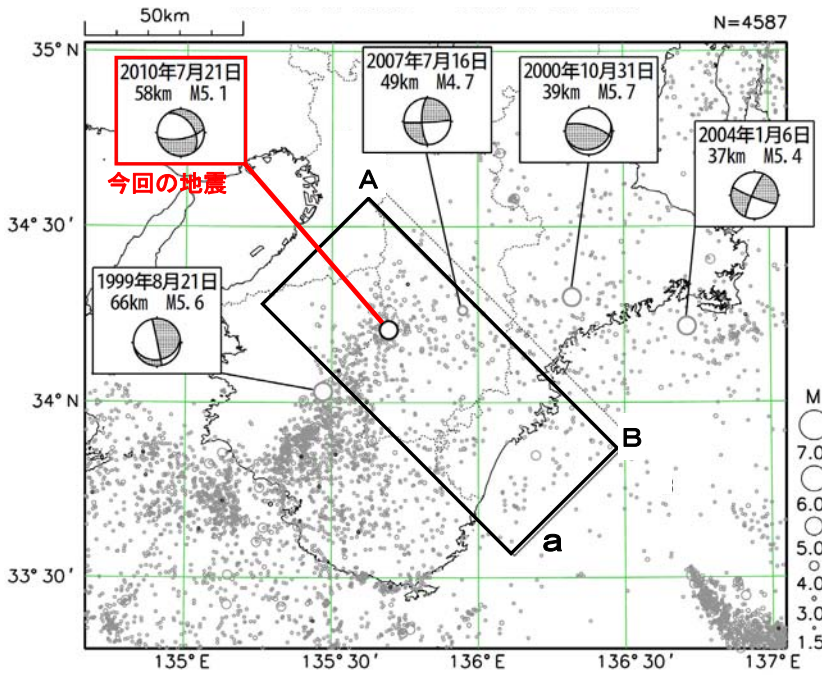
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- a) 7月21日に奈良県で M5.1 の地震（最大震度4）が発生した。
- b) 7月23日に高知県西部で M4.4 の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

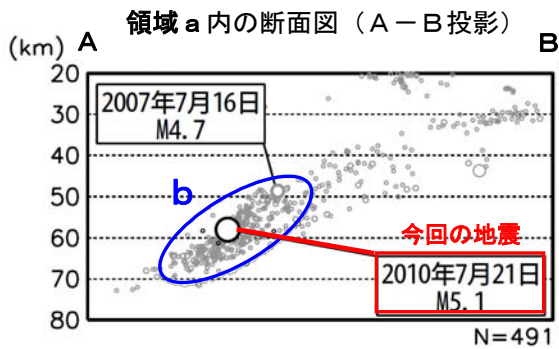
7月21日 奈良県の地震

震央分布図 (1997年10月1日～2010年7月31日、
深さ20～80km、 $M \geq 1.5$)
2010年7月以降の地震を濃く表示

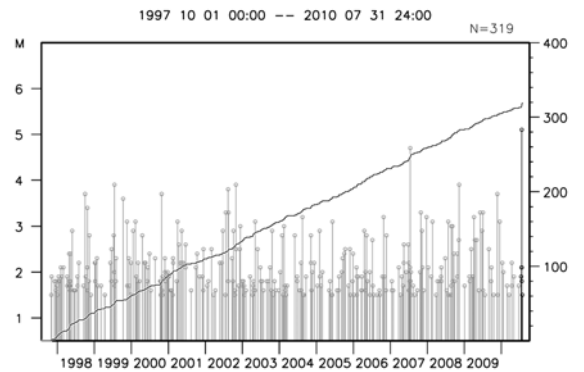


2010年7月21日06時19分に奈良県の深さ58kmで $M 5.1$ の地震(最大震度4)が発生した。この地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。

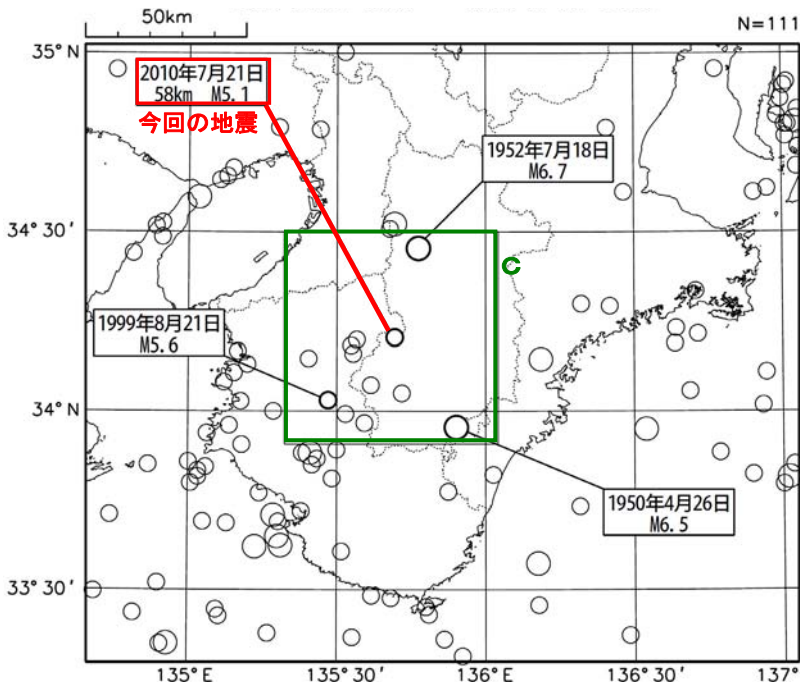
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、 $M 3.0$ 以上の地震が年に2回程度の割合で発生している。 $M 4.0$ 以上の地震では、2007年7月16日に $M 4.7$ の地震(最大震度3)が発生している。



領域b内の地震活動経過図、回数積算図

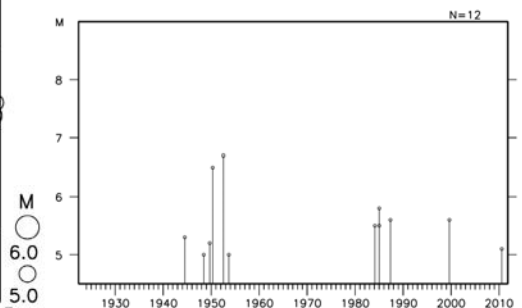


震央分布図 (1923年8月1日～2010年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)



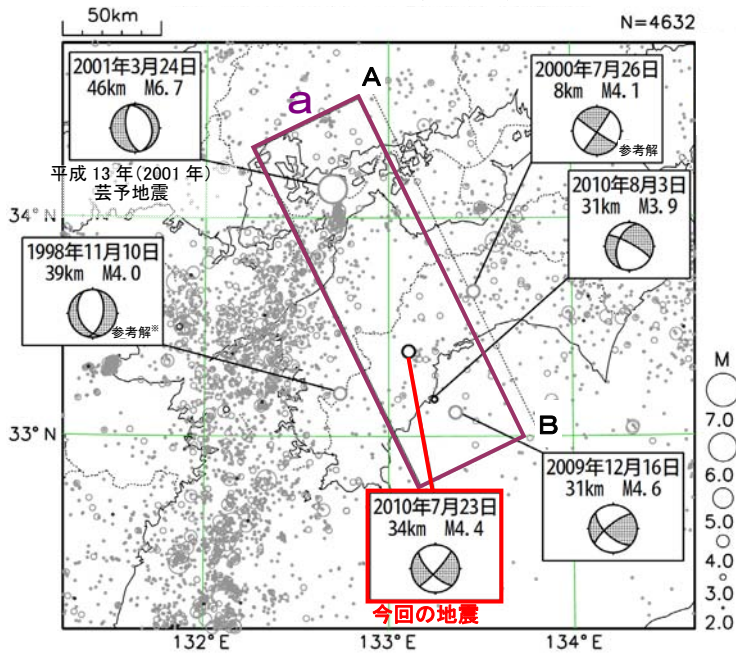
1923年8月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1944年の東南海地震および1946年の南海地震の前後で $M 6$ クラスの地震を含む地震活動が見られた。 $M 5.0$ 以上の地震としては、1999年8月21日の $M 5.6$ の地震(最大震度5弱)以来となる。

領域c内の地震活動経過図



7月23日 高知県西部の地震

震央分布図 (1997年10月1日~2010年8月3日、
深さ0~90km、 $M \geq 2.0$)
2010年7月以降の地震を濃く表示



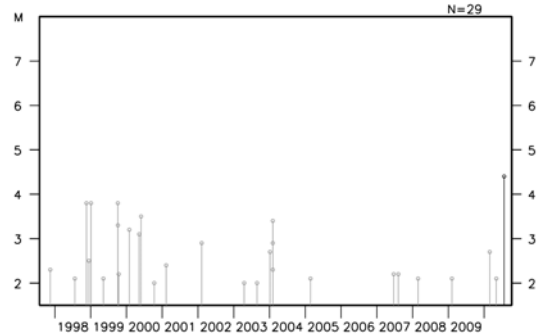
2010年7月23日14時25分に高知県西部の深さ34kmでM4.4の地震(最大震度3)が発生した。発震機構は南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。また、この地震の南南東30kmで8月3日にM3.9の地震が発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域b)では、M4.0以上の地震は発生していなかった。なお、領域bの南側では、2009年12月16日にM4.6の地震(最大震度4)が発生している。

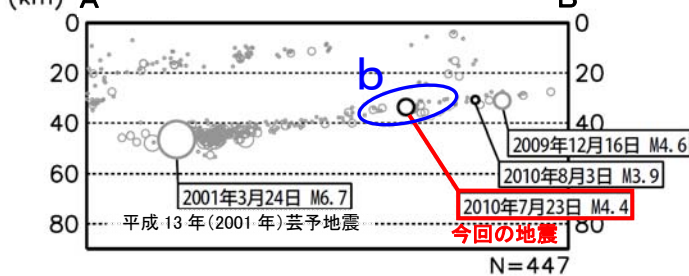
※ 通常の解よりも決定精度が低い。

領域b内の地震活動経過図

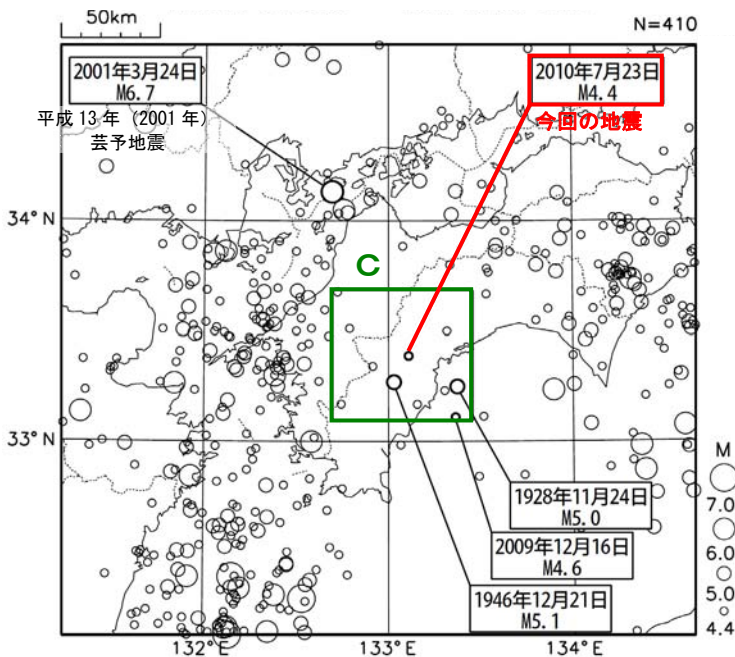
1997 10 01 00:00 -- 2010 08 03 24:00



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図 (1923年8月1日~2010年8月3日、
深さ0~90km、 $M \geq 4.4$)



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、地震活動は低調である。

領域c内の地震活動経過図

1923 08 01 00:00 -- 2010 08 03 24:00

